

---

# EXFO 社製

## PX1 クイックガイド

[ 第 1 版 ]



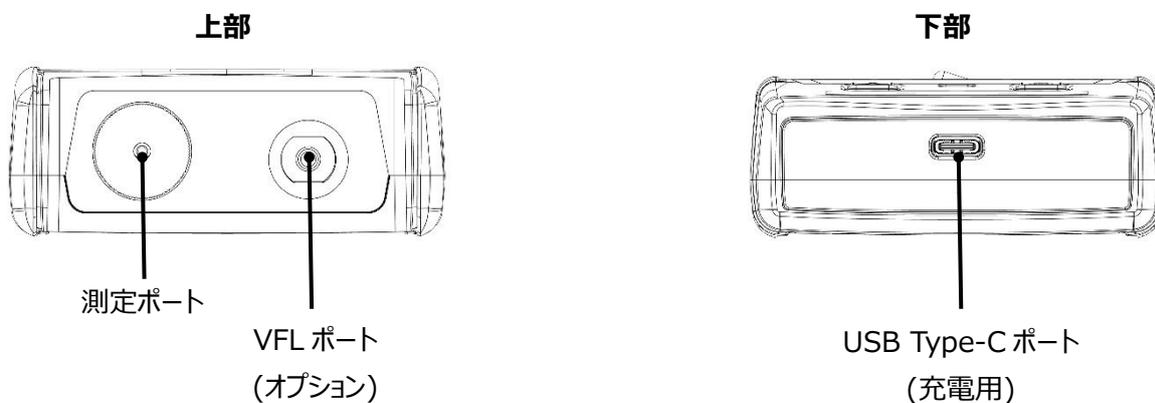
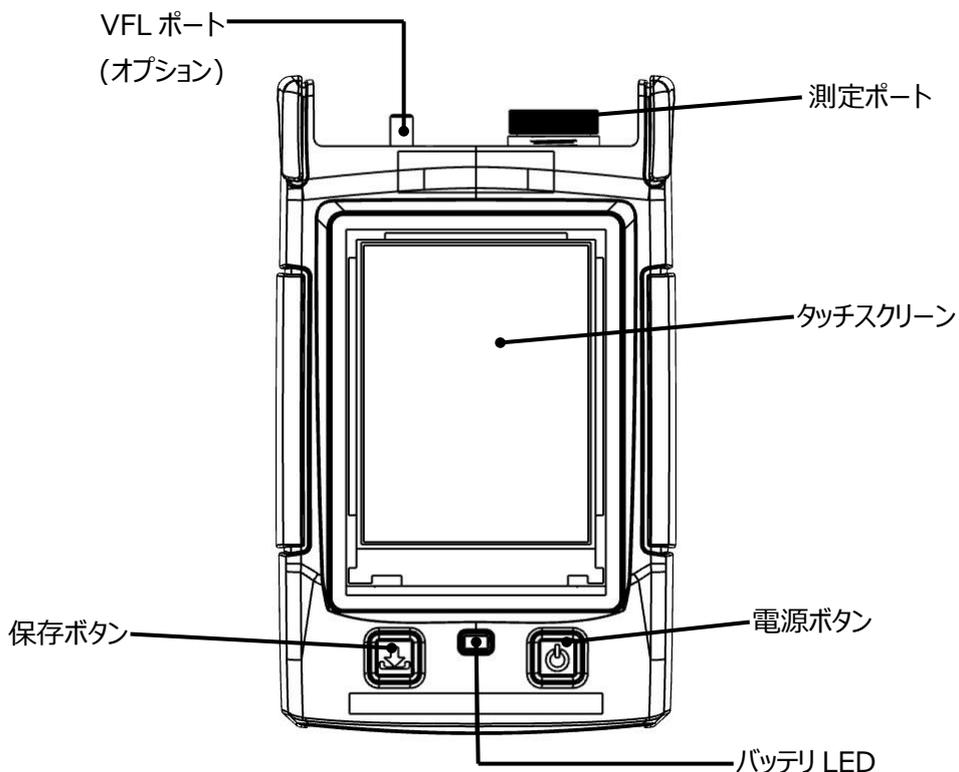
-  本製品の使用前に必ず取扱説明書をお読み下さい。
  -  本取扱説明書は英文取扱説明書の一部邦文訳ですが、全てにおいて英文取扱説明書の補助手段としてご使用ください。
  -  **危険ですので本体のコネクタポートを直接のぞかないで下さい。**
-



## 目次

<b>1. 本体の説明</b> .....	<b>2</b>
<b>2. 初期設定</b> .....	<b>3</b>
2.1. 電源 ON/OFF とメイン画面 .....	3
2.2. メニュー画面 .....	4
2.2.1. 自動 OFF 値設定(Auto off) .....	4
2.2.2. 明るさ調整(Brightness) .....	4
2.2.3. 日付/時刻設定(Date and time) .....	5
2.2.4. 単位設定(Power units).....	5
2.2.5. 測定波長の変更 .....	6
2.2.6. お気に入り波長の登録と削除(Pro モデルのみ) .....	7
2.2.7. 合否判定のしきい値設定(Thresholds) .....	8
2.2.8. Nulling 調整(ゼロ調整) .....	9
2.2.9. リファレンス設定.....	9
2.2.10. 工場出荷時の設定(初期化).....	10
<b>3. パワー測定と LOSS 測定</b> .....	<b>11</b>
<b>4. テスト結果の管理</b> .....	<b>12</b>
4.1. 保存 .....	12
4.2. 確認 .....	12
<b>5. 仕様</b> .....	<b>13</b>

## 1. 本体の説明



### バッテリーLED 状態

接続状態	LED の状態	内容
AC 接続時(充電中)	点灯	95%以上で充電中
	点滅(ゆっくり)	95%以下で充電中
	点滅(速い)	エラー
AC 未接続	消灯	充電していない状態

## 2. 初期設定

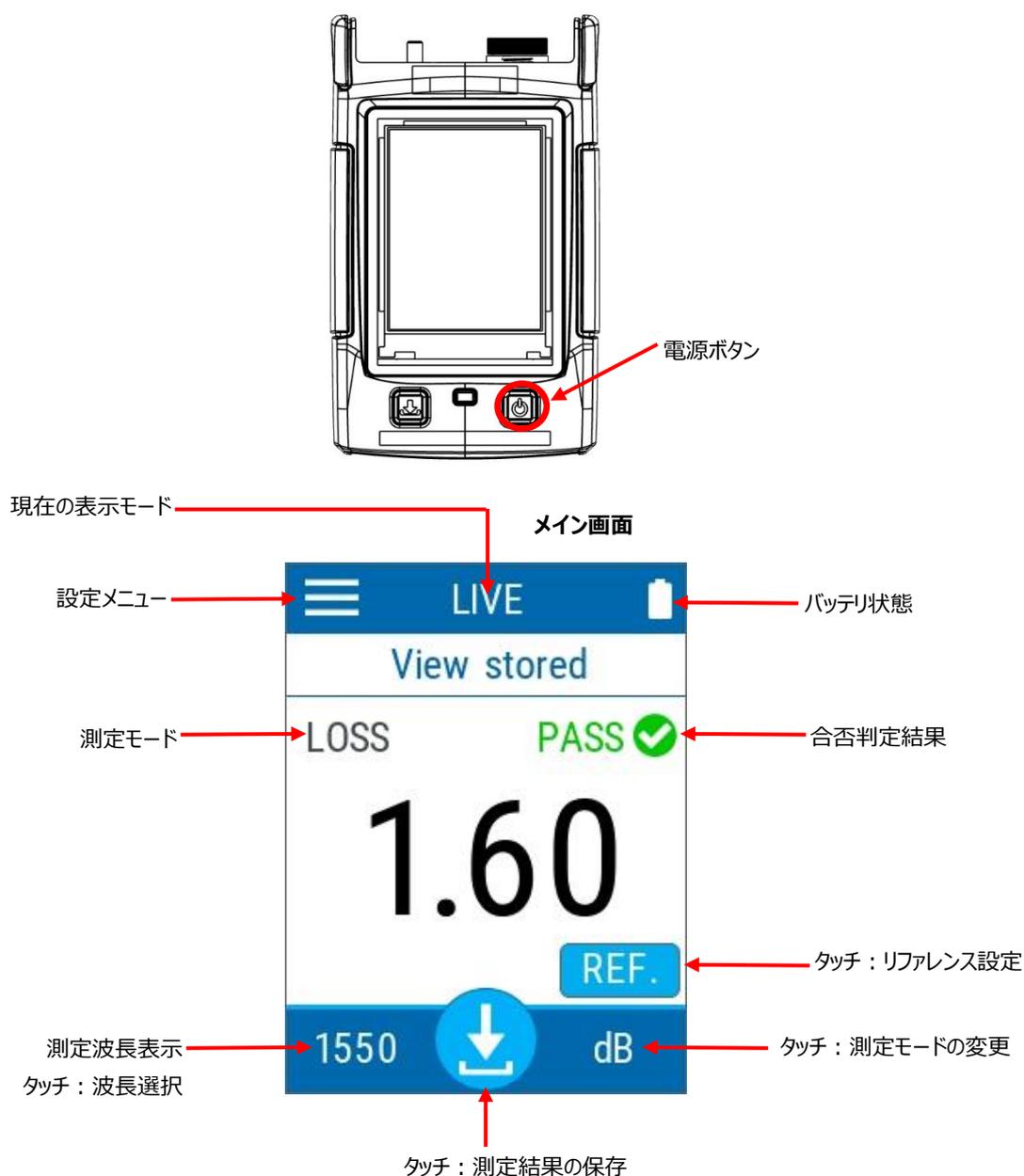
### 2.1. 電源 ON/OFF とメイン画面

- 電源 ON

本体右下の電源ボタンを押します。音が 1 回鳴り、メイン画面が表示されます。

- 電源 OFF

本体右下の電源ボタンを押します。音が 1 回鳴ります。設定値は、保存されます。



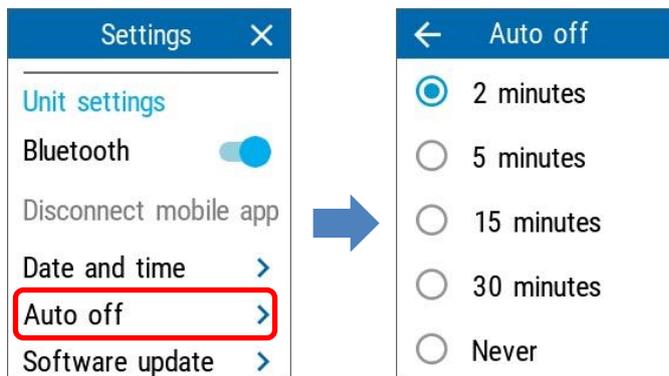
## 2.2. メニュー画面

メイン画面の左上の設定アイコンをタッチ→歯車のアイコンをタッチすると各設定を変更できます。



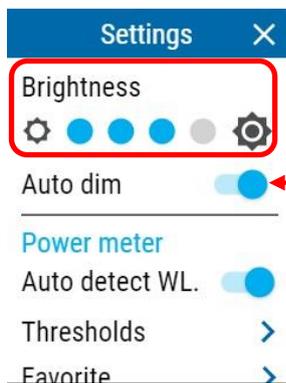
### 2.2.1. 自動 OFF 値設定(Auto off)

- (1)  →  アイコンを選択します。
- (2) Unit setting 項目の Auto off をタッチします。
- (3) 自動 OFF 値を選択します。



### 2.2.2. 明るさ調整(Brightness)

- (1)  →  アイコンを選択します。
- (2) Brightness で画面の明るさを設定します。



**Auto dim :**

有効時は一定時間操作がない場合に自動的に画面が暗くなります。

### 2.2.3. 日付/時刻設定(Date and time)

- (1)  →  アイコンを選択します。
- (2) Unit setting 項目の Date and time をタッチします。
- (3) 変更したい項目(日付 or 時刻)をタッチして、設定します。



時刻変更画面

### 2.2.4. 単位設定(Power units)

パワー測定モード時の単位を設定できます。

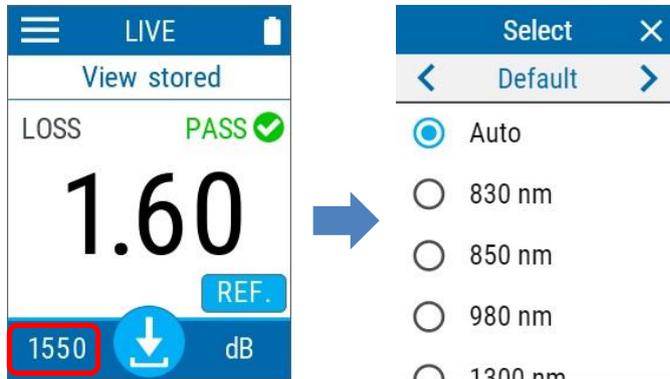
- (1)  →  アイコンを選択します。
- (2) Power meter 項目の Power units をタッチします。
- (3) 単位を選択します。(dBm or Watt)



### 2.2.5. 測定波長の変更

波長リストから測定する波長を選択することができます。

- (1) メイン画面の左下の波長値をタッチします。
- (2) 測定する波長を選択します。



#### < 自動波長検出 >

自動波長検出モードは、Pro モデルのみの機能です。

☰ → ⚙️ アイコンを選択します。Power Meter 項目の Auto detect WL を有効に設定すると波長選択時に Auto を設定することができます。



注：自動長検出モードは、EXFO 社製光源「FPM300/600」をご使用した際に可能となります。

## 2.2.6. お気に入り波長の登録と削除(Pro モデルのみ)

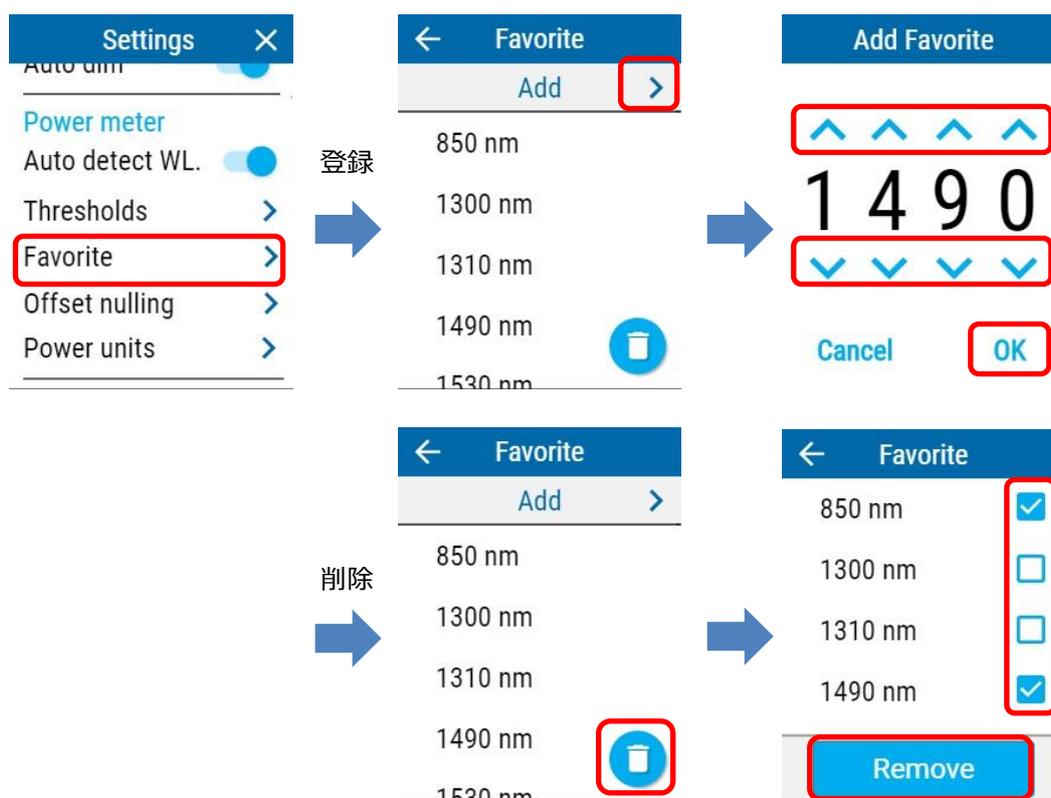
お気に入り(Favorite)に波長を登録できます。24 波長登録することが可能です。

※ 校正波長以外は、保証されません。

校正波長(nm)	初期リスト登録波長(nm)
800, 820, 830, 840, 850, 860, 870, 880, 910, 980, 1270,	850, 1300, 1310, 1490, 1530,
1280, 1290, 1300, 1310, 1320, 1330, 1340, 1350, 1370,	1550, 1625, 1650
1390, 1410, 1430, 1450, 1460, 1470, 1490, 1500, 1510,	
1520, 1530, 1540, 1550, 1560, 1570, 1580, 1590, 1600,	
1610, 1620, 1630, 1640, 1650	

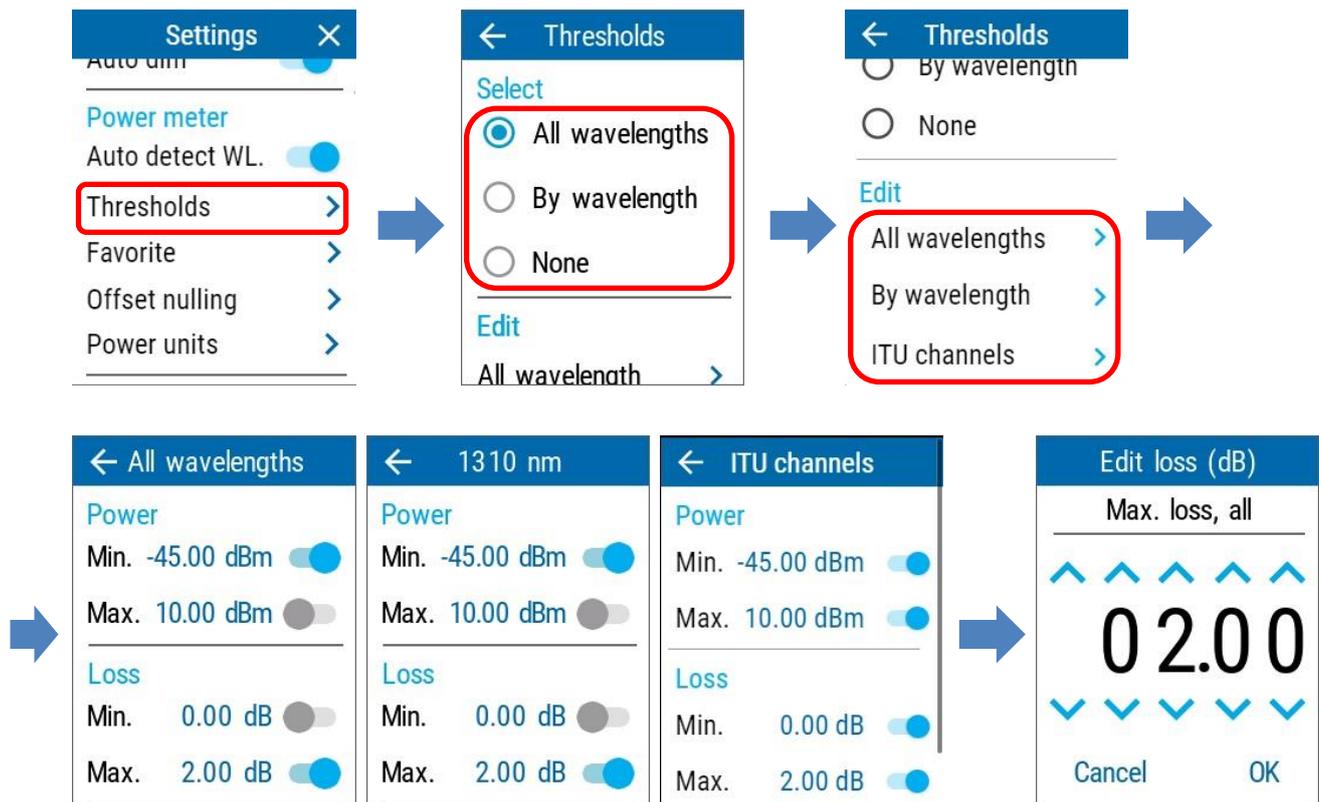
< 登録と削除 >

- (1)  →  アイコンを選択します。
- (2) Power meter 項目の Favorite をタッチします。
- (3) Add の > をタッチして波長を登録し OK をタッチします。
- (4) 登録した波長を削除する場合は、Add 画面の右下のごみ箱をタッチします。
- (5) 削除する減長を選択して、Remove をタッチして波長を削除します。



## 2.2.7. 合否判定のしきい値設定(Thresholds)

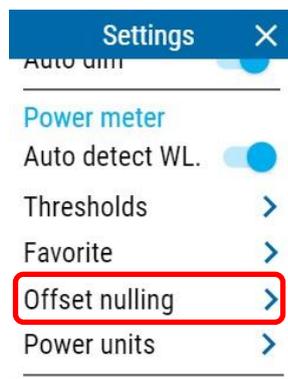
- (1)  →  アイコンを選択します。
- (2) Power meter 項目の Thresholds をタッチします。
- (3) しきい値を適応する波長を選択します。None は、合否判定は無効です。
- (4) 変更メニューを選択します。
- (5) 最大値または最小値に対するしきい値およびしきい値の有効/無効を設定します。



### 2.2.8. Nulling 調整(ゼロ調整)

温度と湿度の変動は、電子回路と光学検出器の性能に影響を与えます。電氣的オフセットをゼロにすると、これらの影響がなくなります。

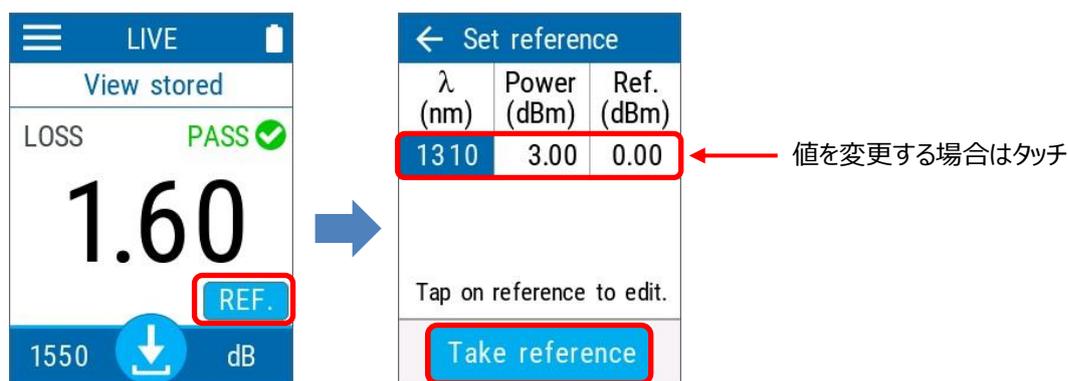
- (1) 測定ポートにキャップをして光を検出しない状態にします。
- (2)  →  アイコンを選択します。
- (3) Power meter 項目の Offset nulling をタッチします。Nulling 調整が自動的に実行されます。



### 2.2.9. リファレンス設定

LOSS 測定 of 基準値(リファレンス値)を設定します。設定した基準値(リファレンス値)に対するロス を LOSS 測定モードで測定します。

- (1) 基準値とする光パワーを測定ポートに接続します。
- (2) メイン画面から REF をタッチします。
- (3) 値を変更する場合は、変更する値をタッチして値を変更して、Take reference をタッチします。そのままの値を使用する場合は、何もせずに Take reference をタッチします。



### 2.2.10. 工場出荷時の設定(初期化)

全ての設定を工場出荷時の設定に戻すことができます。

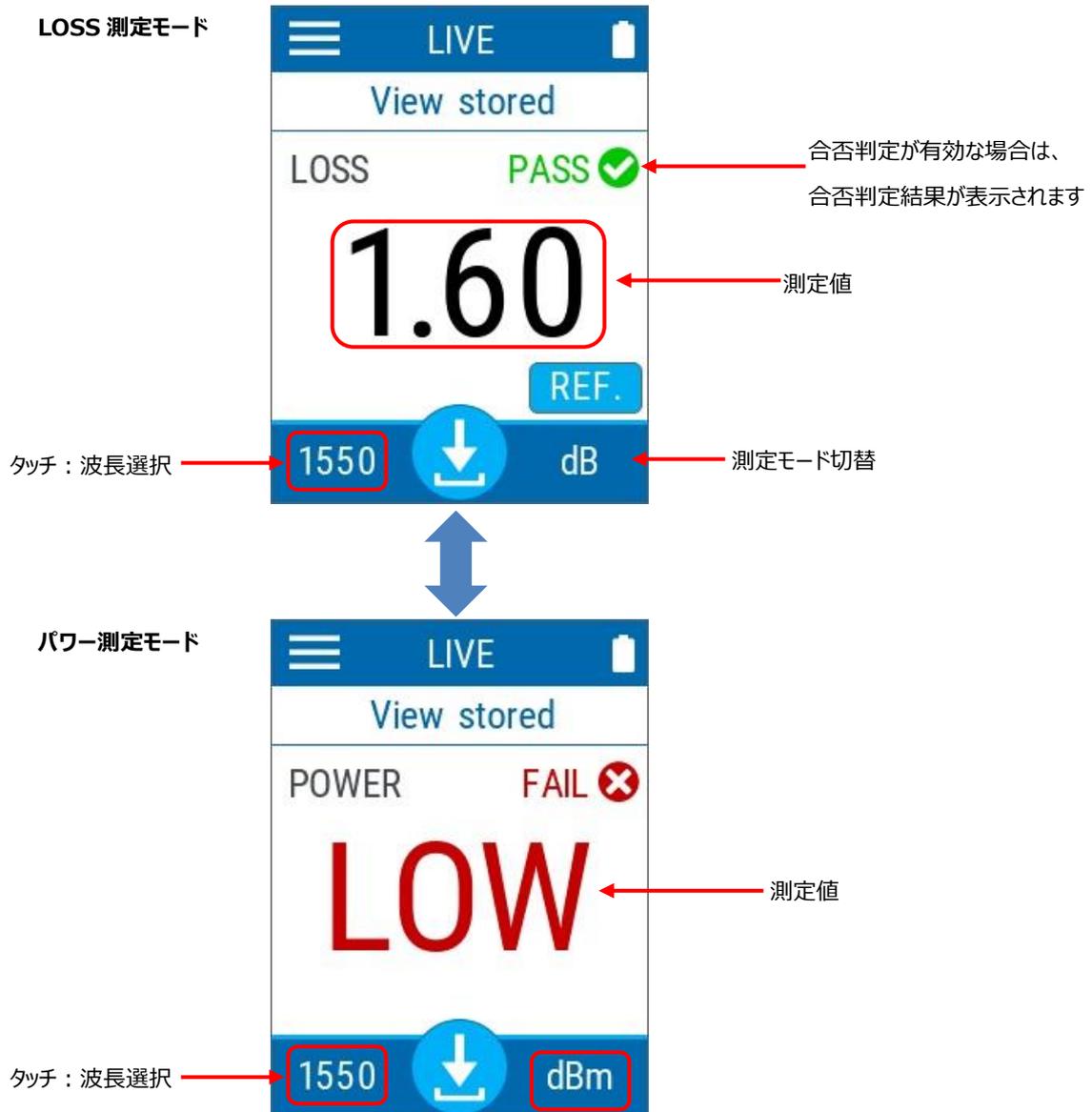
- (1)  →  アイコンを選択します。
- (2) Unit setting 項目の Reset option をタッチします。
- (3) Factory settings をタッチします。



### 3. パワー測定と LOSS 測定

パワー測定(dBm)と LOSS 測定(dB)は、同じ方法で行います。但し、LOSS 測定の場合には、リファレンス設定が必要です。

- (1) 測定前に光ファイバのコネクタを清掃します。
- (2) 測定するファイバを本体上部の測定ポートに接続します。
- (3) 画面左下の波長をタッチして、波長を選択します。測定値が表示されます。
- (4) LOSS 測定モードとパワー測定モードの切り替えは、右下の単位をクリックして切り替えます。



## 4. テスト結果の管理

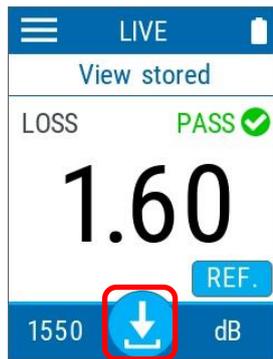
測定結果を内部に保存することができます。

### 4.1. 保存

(1) 測定完了後、メイン画面の画面下の保存ボタンまたは、本体左下のボタンで保存することができます

ファイル名：日付と時間

保存件数：100 件（100 件を過ぎると古い順から上書き保存されてしまいます）



保存ボタン



保存ボタン

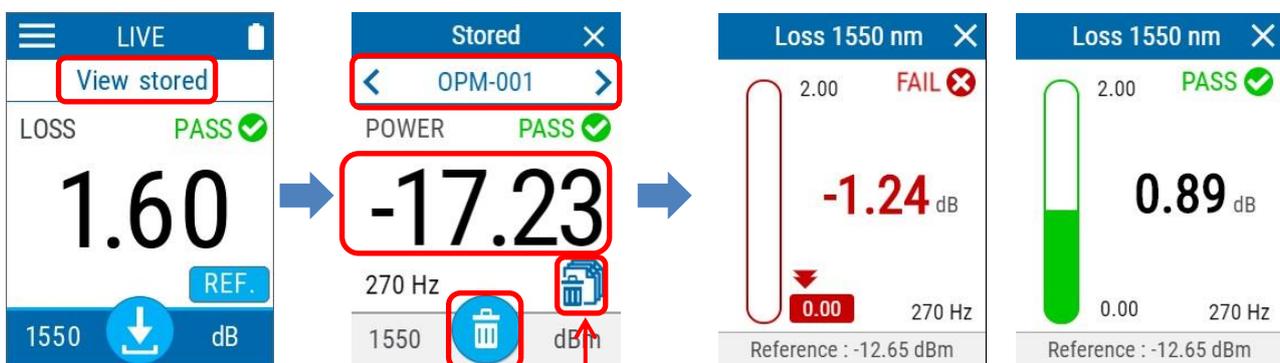
### 4.2. 確認

保存したデータを確認することができます。

(1) 【View stored】をタッチします。

(2) 左右の矢印が表示されます。矢印をタッチすると次または、前の保存した結果を確認することができます。

(3) 表示された測定値をタッチするとマージンメーターが表示されます。(しきい値に対してどれくらい余裕があるか分かります)



全データ削除  
表示されているデータ削除

マージンメーター画面

※ 右上の×ボタンで通常の測定モードに戻ります

## 5. 仕様

項目	仕様	
技術仕様	PX1	PX1-PRO
測定範囲(dBm)	10 ~ -70 (標準) 26 ~ -50 (ハイパワー用)	
パワー不確実性	±5%	
単位	dB, dBm, Watt(W, mW, nW, pW)	
測定波長範囲(nm)	830 ~ 1625	780 ~ 1650
校正波長(nm)	11 波長 830, 850, 980, 1300, 1310, 1450, 1490, 1550, 1577, 1590, 1625	45 波長 800, 820, 830, 840, 850, 860, 870, 880, 910, 980, 1270, 1280, 1290, 1300, 1310, 1320, 1330, 1340, 1350, 1370, 1390, 1410, 1430, 1450, 1460, 1470, 1480, 1490, 1500, 1510, 1520, 1530, 1540, 1550, 1560, 1570, 1577, 1580, 1590, 1600, 1610, 1620, 1630, 1640, 1650
自動波長認識 * 注 P6	×	○
自動波長切替 * 注 P6	×	○
波長バンドル	×	○
VFL(可視光源)	×	○
トーン検出	270Hz, 330Hz, 1kHz, 2kHz	
一般仕様		
バッテリー駆動時間	8 時間	
バッテリー充電時間	3 時間以内	
サイズ(H * W * D)	133 mm * 78 mm * 30 mm	
重さ	225g	
操作温度範囲	-10℃ ~ 50℃	
保管温度範囲	-40℃ ~ 70℃	

---

**EXFO** 【製造元】  
EXFO Inc.



【販売元】  
原田産業株式会社 AIF チーム  
〒100-0005 東京都千代田区丸の内 1-2-1 東京海上日動ビル新館 5F  
Tel : 03-3213-8391 / Fax : 03-3213-8399  
URL : <http://infocom.haradacorp.co.jp>